Histamine ELISA Kit

キット製品

キットID

製品名	:	Histamine ELISA Kit
製品コード	:	409010
Part Number(s)	:	409010|700008175|9507|700002750

キット安全情報シートの供給者の詳細

Supplier
Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - https://www.neogen.com/

Importer
Neogen Japan K.K.
220-0012
Kanagawa Nishi-ku Yokohama City 3-3-3, Minatomirai 12F Yokohama Connect Square
T 045-211-4615

一般事項

使用上の制限	:	あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。
概要	:	このテストキットは、以下に記載されている複数の個別コンポーネントで構成されており、それぞれに安全データシート（SDS）が付属している場合があります。物品、および固定化されてアクセスできない化学物質には、このパッケージに安全データシートは付属していません。

Histamine ELISA Kit

キット 安全情報シート (SIS)

キット内容

名前	GHS分類
Wash Buffer Concentrate, 25X	爆発物 分類できない 可燃性ガス 分類対象外 エアゾール 分類できない 酸化性ガス 分類対象外 高圧ガス 分類対象外 引火性液体 分類できない 可燃性固体 分類対象外 自己反応性化学品 分類できない 自然発火性液体 分類できない 自然発火性固体 分類対象外 自己発熱性化学品 分類できない 水反応可燃性化学品 分類できない 酸化性液体 分類できない 酸化性固体 分類対象外 有機過酸化物 分類できない 金属腐食性化学品 分類できない 鈍性化爆発物 分類できない 急性毒性(経口) 区分外 急性毒性(経皮) 分類できない 急性毒性(吸入：気体) 分類対象外 急性毒性(吸入：蒸気) 分類対象外 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト) 分類できない 皮膚腐食性／刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性　短期（急性） 区分外 水生環境有害性　長期（慢性） 区分外 オゾン層への有害性 分類できない

名前	GHS分類
K-Blue® Advanced TMB Substrate	爆発物 分類できない 可燃性ガス 分類対象外 エアゾール 分類できない 酸化性ガス 分類対象外 高圧ガス 分類対象外 引火性液体 分類できない 可燃性固体 分類対象外 自己反応性化学品 分類できない 自然発火性液体 分類できない 自然発火性固体 分類対象外 自己発熱性化学品 分類できない 水反応可燃性化学品 分類できない 酸化性液体 分類できない 酸化性固体 分類対象外 有機過酸化物 分類できない 金属腐食性化学品 分類できない 鈍性化爆発物 分類できない 急性毒性(経口) 分類できない 急性毒性(経皮) 分類できない 急性毒性(吸入：気体) 分類対象外 急性毒性(吸入：蒸気) 分類対象外 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト) 分類できない 皮膚腐食性／刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 区分1B, H360 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性　短期（急性） 区分外 水生環境有害性　長期（慢性） 区分外 オゾン層への有害性 分類できない

名前	GHS分類
Histamine Multi-Level Controls	爆発物 分類できない 可燃性ガス 分類対象外 エアゾール 分類できない 酸化性ガス 分類対象外 高圧ガス 分類対象外 引火性液体 分類できない 可燃性固体 分類対象外 自己反応性化学品 分類できない 自然発火性液体 分類できない 自然発火性固体 分類対象外 自己発熱性化学品 分類できない 水反応可燃性化学品 分類できない 酸化性液体 分類できない 酸化性固体 分類対象外 有機過酸化物 分類できない 金属腐食性化学品 分類できない 鈍性化爆発物 分類できない 急性毒性(経口) 分類できない 急性毒性(経皮) 分類できない 急性毒性(吸入：気体) 分類対象外 急性毒性(吸入：蒸気) 分類対象外 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト) 分類できない 皮膚腐食性／刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性　短期（急性） 区分外 水生環境有害性　長期（慢性） 区分外 オゾン層への有害性 分類できない

名前	GHS分類
Histamine-HRP Conjugate Solution	爆発物 分類できない 可燃性ガス 分類対象外 エアゾール 分類できない 酸化性ガス 分類対象外 高圧ガス 分類対象外 引火性液体 分類対象外 可燃性固体 分類対象外 自己反応性化学品 分類できない 自然発火性液体 分類対象外 自然発火性固体 分類対象外 自己発熱性化学品 分類できない 水反応可燃性化学品 分類できない 酸化性液体 分類対象外 酸化性固体 分類対象外 有機過酸化物 分類できない 金属腐食性化学品 分類できない 鈍性化爆発物 分類できない 急性毒性(経口) 区分外 急性毒性(経皮) 分類できない 急性毒性(吸入：気体) 分類対象外 急性毒性(吸入：蒸気) 分類対象外 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト) 分類できない 皮膚腐食性／刺激性 区分外 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分外 呼吸器感作性 区分外 皮膚感作性 区分1, H317 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分外 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性　短期（急性） 分類できない 水生環境有害性　長期（慢性） 区分外 オゾン層への有害性 分類できない

名前	GHS分類
Phosphate Buffered Saline, Foil Pouch	爆発物 分類できない 可燃性ガス 分類対象外 エアゾール 分類できない 酸化性ガス 分類対象外 高圧ガス 分類対象外 引火性液体 分類対象外 可燃性固体 分類できない 自己反応性化学品 分類できない 自然発火性液体 分類対象外 自然発火性固体 分類できない 自己発熱性化学品 分類できない 水反応可燃性化学品 分類できない 酸化性液体 分類対象外 酸化性固体 分類できない 有機過酸化物 分類できない 金属腐食性化学品 分類できない 鈍性化爆発物 分類できない 急性毒性(経口) 区分外 急性毒性(経皮) 分類できない 急性毒性(吸入：気体) 分類対象外 急性毒性(吸入：蒸気) 分類対象外 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト) 区分外 皮膚腐食性／刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性　短期（急性） 区分外 水生環境有害性　長期（慢性） 区分外 オゾン層への有害性 分類できない

輸送上の注意

国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)
国連番号
非該当

国連勧告 (UN RTDG)
国連正式品名
非該当
輸送危険物分類
非該当
容器等級
非該当
環境有害性
非該当

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	Wash Buffer Concentrate, 25X
製品タイプ	:	Food Safety -- [Food Safety]
製品コード	:	24218
Part Number(s)	:	24218|24269|400000123|400000128

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	:	化学研究及び開発、分析用薬剤
使用上の制限	:	あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。

会社情報

製造業者

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - https://www.neogen.com/

輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア12階
T 045-211-4615

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号	:	24 hours: Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international) Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	分類できない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	分類できない

	急性毒性 (吸入：気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入：蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性　短期（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性　長期（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　：混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Thimerosal	< 0.1	-	-	54-64-8

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般　　：気分が悪い場合は医師の診察を受ける。

吸入した場合　　：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合　　：皮膚は多量の水で洗浄する。

眼に入った場合　　：予防措置として眼を水ですすぐ。

飲み込んだ場合　　：気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護　　：救急隊員は、適切な個人用保護具を装備する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合　　：通常の条件下では特に無し。

症状/損傷 皮膚に付着した場合　　：通常の条件下では特に無し。

症状/損傷 眼に入った場合　　：通常の条件下では特に無し。

症状/損傷 飲み込んだ場合　　：通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療　　：対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	: 強い水流は使用しない。
火災危険性	: 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	: 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。

非緊急対応者

保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	: 漏出エリアを換気する。

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。 流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。 可能であればリスクなく漏出をせき止める。
浄化方法	: 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
その他の情報	: 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: データなし
安全取扱注意事項	: 作業所の十分な換気を確保する。 個人用保護具を着用する。
接触回避	: データなし
衛生対策	: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件	: 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
安全な容器包装材料	: データなし
技術的対策	: 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
容器包装材料	: 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具	: 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
手の保護具	: 保護用手袋
眼の保護具	: 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視	: 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
外観	: 水溶液
色	: 透明色、無色
臭い	: 無臭
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (Vol-%)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし

危険有害な分解生成物 : 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口) : 区分に該当しない。
急性毒性 (経皮) : 分類できない。
急性毒性 (吸入) : 区分に該当しない(分類対象外) (気体)。
区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)。
分類できない (粉じん、ミスト)。

Wash Buffer Concentrate, 25X	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の24.54%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の99.08%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の99.08%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている

Thimerosal (54-64-8)	
急性毒性 (経口)	【分類根拠】(1)、(2) より、区分3とした。【根拠データ】(1) ラットのLD50: 75 mg/kg (AICIS (旧NICNAS) IMAP (2017)、GESTIS (Access on May 2020)、HSDB (Access on May 2020))(2) ラットのLD50: 98 mg/kg (NTP (2001))
急性毒性 (経皮)	【分類根拠】データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:気体)	【分類根拠】GHSの定義における固体であり、区分に該当しない。
急性毒性 (吸入:蒸気)	【分類根拠】データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	【分類根拠】データ不足のため分類できない。
LD50 経口	75 mg/kg
LC50 吸入 - ラット	0.201 mg/l Source: GESTIS

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
皮膚腐食性／刺激性	【分類根拠】データ不足のため分類できないとした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない

Thimerosal (54-64-8)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	【分類根拠】旧分類の根拠となったデータが確認できず、データ不足のため分類できないとした。

呼吸器感作性 : 分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
呼吸器感作性	【分類根拠】データ不足のため分類できない。

皮膚感作性 : 分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
皮膚感作性	【分類根拠】(1)～(3) より、区分1Aとした。【根拠データ】(1) モルモットを用いた複数の皮膚感作性試験が実施されており、Optimization法で陽性 (陽性率 70%)、改変マキシマイゼーション法 (皮内投与 0.1%) で陽性 (陽性率 70%)、その他、皮下投与及び閉塞適用による感作性試験でも陽性と報告されている (MAK (DFG) vol.15 (2001))。 (2) 本物質は産衛学会　感作性分類　皮膚第1群に分類されている (産衛誌55巻 (2013))。(3) 本物質が職業性接触皮膚炎の原因である症例報告があり、手袋せずにワクチン接種業務に従事し手に湿疹が生じ、パッチテストで陽性であり、ビニール手袋を着用したら症状が消失した。また、別の報告では、8年前に肝炎ワクチン接種で感作されたことが疑われ、その後ワクチン接種業務で手の湿疹を生じパッチテストで陽性であった (産衛学会感作性物質提案理由書 (2013))。

生殖細胞変異原性　：分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
生殖細胞変異原性	【分類根拠】(1)、(2) より、区分に該当しないとした。【根拠データ】(1) in vivoでは、欧州共同体のバリデーション試験で、マウス腹腔内投与による骨髄細胞の小核試験及び染色体異常試験で陰性、精母細胞の染色体異常試験で陰性として分類された (AICIS (旧NICNAS) IMAP (2017)、NTP (2001)、HSDB (Access on May 2020))。(2) in vitroでは、細菌の復帰突然変異試験で陰性の報告 (AICIS (旧NICNAS) IMAP (2017)、NTP (2001)、CEBS (Access on May 2020))。ヒトリンパ球培養細胞の染色体異常試験、遺伝子突然変異試験であいまいな結果の報告がある (HSDB (Access on May 2020))。

発がん性　：分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
発がん性	【分類根拠】データ不足のため分類できない。新たな情報源を用いて検討し、分類結果を変更した。【参考データ等】(1) ラットに本物質を1年間皮下投与した発がん性試験では、腫瘍発生率の増加は認められなかった (AICIS (旧NICNAS) IMAP (2017))。

生殖毒性　：分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
生殖毒性	【分類根拠】(1) より、腹腔内投与、点眼適用により、母動物毒性がみられない用量で胚及び胎児の致死性がみられていることから区分1Bとした。【根拠データ】(1) 雌ラットの妊娠6～18日に腹腔内投与した発生毒性試験、雌ウサギの妊娠6～18日に点眼適用した発生毒性試験において、母動物毒性がみられない用量で、胚及び胎児の致死性 (死亡、流産または再吸収) がみられているが催奇形性はみられていない (AICIS (旧NICNAS) IMAP (2017))。【参考データ等】(2) ヒトで利用可能なデータに基づくと、本物質を含むワクチンで使用されている濃度では、ヒトに発生毒性を引き起こさない (AICIS (旧NICNAS) IMAP (2017))。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)　：分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	【分類根拠】(1)～(3) より、区分1 (神経系、血液系、腎臓) とした。なお、(1) の皮膚炎は1例のみの症例であったため、ガイダンスに従って採用しなかった。新たな情報源の使用により、旧分類から分類結果を変更した。【根拠データ】(1) 本物質83 mg/kgを摂取した44歳の男性で、胃炎、腎尿細管障害、皮膚炎、歯肉炎、せん妄、昏睡、多発性神経障害 (全身性末梢神経変性) 及び呼吸不全がみられた (AICIS (旧NICNAS) IMAP (2017)、HSDB (Access on May 2020))。(2) 本物質を含む製品による急性水銀中毒の症例が報告されており、本物質の投与量として、約3 mg/kg～数100 mg/kgの範囲で、局所壊死、急性溶血、播種性血管内凝固、急性腎尿細管壊死、鈍麻、昏睡、中枢神経系損傷がみられた (HSDB (Access on May 2020))。(3) アルキル水銀化合物による四肢末端若しくは口囲の知覚障害、視覚障害、運動失調、平衡障害、構語障害又は聴力障害は、労働基準法施行規則別表第一の二に掲げる業務上の疾病として定められている (労働省告示第三十三号 (1996))。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) ： 分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	【分類根拠】(1)、(2) より、区分1 (神経系) とした。【根拠データ】(1) アルキル水銀化合物は無機水銀化合物とは対照的に血液-脳関門、血液-胎盤関門を速やかに通過する。主な標的臓器は中枢及び末梢神経系及び腎臓である (ACGIH (7th, 2001))。(2) 鼓膜切開術を受けた18歳女性が耳の感染症を処置するために、6週間にわたり本物質0.1%を含む耳洗浄液1.2 Lを投与された。この洗浄液の鼻咽頭へのドレナージにより二次的な経口摂取が生じ、総ばく露量は127 mg/kg に達した。運動失調、卒中及び昏睡が6週目に生じ、治療開始140日後に死亡した (AICIS (旧NICNAS) IMAP (2017))。(3) アルキル水銀化合物による四肢末端若しくは口囲の知覚障害、視覚障害、運動失調、平衡障害、構語障害又は聴力障害は、労働基準法施行規則別表第一の二に掲げる業務上の疾病として定められている (労働省告示第三十三号 (1996))。【参考データ等】(4) 本物質は、ワクチン、点眼薬、コンタクトレンズの洗浄及び保存液の保存剤として広く使用されている有機水銀化合物である (HSDB (Access on May 2020))。(5) 本物質を190日間鼻腔内投与した実験動物 (生物種不明) において、脳、腎臓の病理組織学的変化は観察されなかったとの報告がある (HSDB (Access on May 2020))。

誤えん有害性 ： 分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
誤えん有害性	【分類根拠】データ不足のため分類できない。
動粘性率	Not applicable (solid)

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 ： 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。

水生環境有害性　短期（急性） ： 区分に該当しない。

水生環境有害性　長期（慢性） ： 区分に該当しない。

Thimerosal (54-64-8)	
水生環境有害性　短期（急性）	データがなく分類できない
水生環境有害性　長期（慢性）	データがなく分類できない
LC50 - 魚 [1]	0.16 mg/l (96 h, Cyprinus carpio, Literature study, Mercury ion)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-1.88 (Estimated value, KOWWIN)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.235 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

残留性・分解性

Wash Buffer Concentrate, 25X	
残留性・分解性	急速分解性でない

Thimerosal (54-64-8)	
残留性・分解性	Not readily biodegradable in water。

生体蓄積性

Wash Buffer Concentrate, 25X	
生体蓄積性	データなし

Thimerosal (54-64-8)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-1.88 (Estimated value, KOWWIN)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.235 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

土壌中の移動性

Wash Buffer Concentrate, 25X	
土壌中の移動性	データなし

Thimerosal (54-64-8)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-1.88 (Estimated value, KOWWIN)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.235 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)
生態系 - 土壌	Low potential for adsorption in soil。

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性　：分類できない。

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分　：管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法　：許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
残余廃棄物　：本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。
廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。
地域の廃棄規則　：管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理　：管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

追加情報 ： 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)
国連番号
輸送規則の定義上危険物に該当しない。
国連正式品名
規制されていない
輸送危険物分類
規制されていない
容器等級
規制されていない
環境有害性
規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 ： 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

毒物及び劇物取締法 ： 劇物（指定令第２条）
［（２－カルボキシラトフエニル）チオ］（エチル）水銀ナトリウム０．１％以下を含有する製剤
毒物・除外品目（指定令第１条）
水銀化合物／［（２－カルボキシラトフエニル）チオ］（エチル）水銀ナトリウムを含有する製剤

水質汚濁防止法 ： 有害物質（法第２条、施行令第２条、排水基準を定める省令第１条）

大気汚染防止法 ： 有害大気汚染物質、優先取組物質（中央環境審議会第９次答申）

海洋汚染防止法 ： 個品運送Ｐ（施行規則第３０条の２の３、国土交通省告示）
有害でない物質（施行令別表第１の２）
有害液体物質（Ｚ類同等の物質）（環境省告示第１４８号第３号）

道路法 ： 車両の通行の制限（施行令第１９条の１３、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第１２号・別表第２）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ： 特別管理産業廃棄物（法第２条第５項、施行令第２条の４）

水道法 ： 有害物質（法第４条第２項）、水質基準（平１５省令１０１号）

下水道法 ： 水質基準物質（法第１２条の２第２項、施行令第９条の４）

労働基準法	： 疾病化学物質（法第７５条第２項、施行規則第３５条別表第１の２第４号１）
農薬取締法	： 販売禁止農薬（法第１８条第２項、平成１５年３月５日省令第１１号、令和５年４月４日省令第２号・別表第２）
土壌汚染対策法	： 特定有害物質（法第２条第１項、施行令第１条）

16. その他の情報

免責条項　当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	K-Blue® Advanced TMB Substrate
製品タイプ	:	Life Sciences -- [Life Sciences]
製品コード	:	21266
Part Number(s)	:	21266|27090|319175|319176|319177|319257|319251|319207|319206|319212|319170-W|319171|319174-W|319189|319191|319199|319202|319210-L

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	:	分析用薬剤、化学研究及び開発
使用上の制限	:	あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。

会社情報

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - https://www.neogen.com/

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号	:	24 hours: Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international) Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	分類できない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入：気体)	区分に該当しない

	急性毒性 (吸入：蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分1B
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性　短期（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性　長期（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP) ： 危険

危険有害性 (GHS JP) ： 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ (H360)

注意書き (GHS JP)

安全対策 ： 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 (P280)

応急措置 ： ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)

保管 ： 施錠して保管すること。 (P405)

廃棄 ： 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 ： 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
2-Pyrrolidinone	≥ 5 - < 10	(5)-112	既存化学物質	616-45-5
Triethyltetramine	< 0.1	(2)-163,(7)-5	既存化学物質	112-24-3

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般 ： ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	: 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	: 救急隊員は、適切な個人用保護具を装備する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 眼に入った場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 飲み込んだ場合	: 通常の条件下では特に無し。
慢性症状	: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	: 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	: 強い水流は使用しない。
火災危険性	: 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	: 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。

非緊急対応者

保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	: 出動は、適切な保護装備を身につけた有資格者に限られる。

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。 流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。 可能であればリスクなく漏出をせき止める。
浄化方法	: 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
その他の情報	: 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: データなし
安全取扱注意事項	: 作業所の十分な換気を確保する。 使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 個人用保護具を着用する。
接触回避	: データなし
衛生対策	: 作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件	: 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	: データなし
技術的対策	: 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
容器包装材料	: 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具	: [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	: 保護用手袋
眼の保護具	: 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視	: 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
外観	: 水溶液
色	: 透明色、淡青色
臭い	: 特異臭
pH	: 3.1 – 3.5
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし

引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (Vol-%)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない。
急性毒性 (経皮)	: 分類できない。
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体)。 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)。 分類できない (粉じん、ミスト)。

K-Blue® Advanced TMB Substrate	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の5.6%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の99.09%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の99.09%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている
2-Pyrrolidinone (616-45-5)	
LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity), Guideline: EU Method B.1 (Acute Toxicity (Oral))
LD50 経皮 ウサギ	> 2000 mg/kg BW Animal: rabbit, Guideline: OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
Triethyltetramine (112-24-3)	
急性毒性 (経口)	ラット LD50＝2500、2780、3750mg/kg（SIDS（1998））、4340mg/kg（PATTY, 5th（2001）、SIDS（1998））に基づき、JIS分類基準の区分外（国連分類の区分5）とした。
急性毒性 (経皮)	ウサギ LD50＝550mg/kg（SIDS（1998））、805mg/kg（PATTY, 5th（2001）、SIDS（1998））に基づき、区分3とした。

Triethyltetramine (112-24-3)	
急性毒性 (吸入:気体)	GHSの定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データなし。
LD50 経口 ラット	1716 mg/kg BW (BASF test, Rat, Experimental value, Oral)
LD50 経口	2500 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	1465 mg/kg BW (BASF test, Rabbit, Experimental value, Dermal)
LD50 経皮	550 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性　：分類できない。

K-Blue® Advanced TMB Substrate	
pH	3.1 – 3.5

Triethyltetramine (112-24-3)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギ皮膚に適用した試験で紅斑と浮腫のみならず壊死が複数の試験で観察された（SIDS（1998））ことから「区分1」とした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性　：分類できない

K-Blue® Advanced TMB Substrate	
pH	3.1 – 3.5

Triethyltetramine (112-24-3)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギの眼に適用した試験で重度の角膜損傷が報告されている（SIDS（1998））。さらに、皮膚腐食性を示すデータ（SIDS（1998））もあることから「区分1」とした。

呼吸器感作性　：分類できない。

Triethyltetramine (112-24-3)	
呼吸器感作性	データ不足。

皮膚感作性　：分類できない。

Triethyltetramine (112-24-3)	
皮膚感作性	モルモットを用いた皮膚感作性試験（Maximization Test）で陽性率がそれぞれ80%および 90%でいずれも「感作性あり（sensitizing）」と評価され（SIDS（1998））、マウスに対する耳介浮腫試験でも陽性結果が得られている（SIDS（1998））。さらにヒトの症例および疫学調査では、本物質が皮膚感作性を有することを示す報告が数多く出されている（SIDS（1998））。これらの皮膚感作性が陽性を示す動物およびヒトの情報に基づき「区分1」とした。

生殖細胞変異原性　：分類できない。

Triethyltetramine (112-24-3)	
生殖細胞変異原性	マウスの腹腔内投与による小核試験（体細胞 in vivo 変異原性試験）での陰性結果SIDS（1998））に基づき、区分外とした。なお、in vitro 変異原性試験では、細菌を用いた復帰突然変異、哺乳類培養細胞を用いた染色体異常試験など複数指標で陽性が得られている（,SIDS（1998））。

発がん性　：分類できない。

Triethyltetramine (112-24-3)	
発がん性	マウスに2年間あるいは生涯にわたり経皮投与の結果、投与に関連する皮膚腫瘍の発生はなく、他の部位においても腫瘍発生頻度の増加は観察されていない（SIDS（1998））、経皮投与であり、かつマウス雄のみのデータであることからデータ不足により分類できない。

生殖毒性 ： 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

Triethyltetramine (112-24-3)	
生殖毒性	器官形成期を含む妊娠期間に、ラットの場合は経口、ウサギの場合は経皮投与により、それぞればく露したした試験で、胎児および催奇形性を含む仔の発生に有害影響は認められていない（SIDS（1998））が、親動物の性機能および生殖能への影響に関してデータ不十分のため分類できない。なお、ラットで胎児の異常の発生頻度が有意に増加したが、キレート化がもたらす銅欠乏による二次影響と考えられている（SIDS（1998））。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) ： 分類できない。

Triethyltetramine (112-24-3)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	マウス、ラット、ウサギ、モルモットに対して、粘膜に可逆性の軽度炎症と呼吸阻害がみられ（SIDS（1998））、さらにエアゾールへのばく露が可逆性の気道刺激をもたらすと記述されていること（SIDS（1998））から、区分3（気道刺激性）とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) ： 分類できない。

2-Pyrrolidinone (616-45-5)	
NOAEL (経口、ラット、90日)	207 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity Study in Rodents), Guideline: EU Method B.26 (Sub-Chronic Oral Toxicity Test: Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity Study in Rodents)

Triethyltetramine (112-24-3)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットの4ヶ月の経口投与試験で215mg/kgの用量で、中枢神経系の興奮、血清中のタンパク質、ヘモグロビン、馬尿酸の減少が認められている（SIDS(1998)）。.またラットの10ヶ月の経口投与試験で0.8mg/kgの用量で興奮性の増加、感覚反射の促進が認められている（SIDS(1998)）。ヒトばく露例でリンパ球や好中球増加、眠気、頭痛、胃の痛み、疲労感、脱力感や食欲減退が報告されている（SIDS(1998)）。動物試験およびヒトのばく露において血液、中枢神経系への影響が疑われるが、データ不足により分類できないとした。

誤えん有害性 ： 分類できない。

2-Pyrrolidinone (616-45-5)	
動粘性率	9.009 mm²/s

Triethyltetramine (112-24-3)	
誤えん有害性	データなし。
動粘性率	No data available in the literature

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。

水生環境有害性　短期（急性） : 区分に該当しない。

水生環境有害性　長期（慢性） : 区分に該当しない。

2-Pyrrolidinone (616-45-5)	
LC50 - 魚 [1]	4600 – 10000 mg/l (OECD 203: Fish, Acute Toxicity Test, 96 h, Danio rerio, Static system, Fresh water, Experimental value)
EC50 - 甲殻類 [1]	> 500 mg/l (48 h, Daphnia magna, Static system, Fresh water, Experimental value)
EC50 72h - 藻類 [1]	> 500 mg/l Test organisms (species): Desmodesmus subspicatus (previous name: Scenedesmus subspicatus)
ErC50 藻類	> 500 mg/l (DIN 38412-9, 72 h, Desmodesmus subspicatus, Static system, Fresh water, Experimental value)
BCF - 魚 [1]	3.16 l/kg (BCFBAF v3.00, Fresh water, Calculated value)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-0.71 (Practical experience/observation, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 25 °C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	0.868 (log Koc, Calculated value)

Triethyltetramine (112-24-3)	
水生環境有害性　短期（急性）	藻類（ムレミカヅキモ）72時間ErC50 = 27 mg/L（MOE既存点検結果, 2002、MOE初期評価, 2015）であることから、区分3とした。
水生環境有害性　長期（慢性）	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性に関する十分なデータが得られていない。藻類（ムレミカヅキモ）の72時間NOErC = 0.468 mg/L（MOE既存点検結果, 2002、MOE初期評価, 2015）から、区分2となる。慢性毒性データが得られていない栄養段階（魚類）に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性に関する十分なデータが得られておらず、魚類（ヒメダカ）の96時間LC50 > 110 mg/L（MOE既存点検結果, 2002、MOE初期評価, 2015）である。難水溶性ではなく（水溶解度＝4770000 mg/L、PhysProp Database）生物濃縮性が低いと推測される（logKow=　-2.65　（KOWWIN））ことから、区分に該当しないとなる。以上の結果を比較し、区分2とした。慢性毒性の分類方法の変更及び新たな情報の使用により、旧分類から分類結果が変更となった。
LC50 - 魚 [1]	495 mg/l (96 h, Pimephales promelas, Fresh water, Literature study)
EC50 - 甲殻類 [1]	31.1 mg/l (Equivalent or similar to OECD 202, 48 h, Daphnia magna, Literature study)
ErC50 藻類	27 mg/l
NOEC 藻類 慢性	0.468 mg/l
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-2.65 (Estimated value, KOWWIN)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.885 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

残留性・分解性

K-Blue® Advanced TMB Substrate	
残留性・分解性	急速分解性でない
2-Pyrrolidinone (616-45-5)	
残留性・分解性	Readily biodegradable in water。
生化学的酸素要求量(BOD)	1.16 g O_2/g substance
化学的酸素要求量(COD)	1.69 g O_2/g substance
ThOD	2.44 g O_2/g substance
Triethyltetramine (112-24-3)	
残留性・分解性	Not readily biodegradable in water。

生体蓄積性

K-Blue® Advanced TMB Substrate	
生体蓄積性	データなし
2-Pyrrolidinone (616-45-5)	
生体蓄積性	Low potential for bioaccumulation (BCF < 500)。
BCF - 魚 [1]	3.16 l/kg (BCFBAF v3.00, Fresh water, Calculated value)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-0.71 (Practical experience/observation, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 25 ° C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	0.868 (log Koc, Calculated value)
Triethyltetramine (112-24-3)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-2.65 (Estimated value, KOWWIN)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.885 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

土壌中の移動性

K-Blue® Advanced TMB Substrate	
土壌中の移動性	データなし
2-Pyrrolidinone (616-45-5)	
土壌中の移動性	17 Source: National Library of Medicine/Hazardous Substances Data Bank
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-0.71 (Practical experience/observation, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 25 ° C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	0.868 (log Koc, Calculated value)
生態系 - 土壌	Highly mobile in soil。
Triethyltetramine (112-24-3)	
表面張力	No data available in the literature
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-2.65 (Estimated value, KOWWIN)

Triethyltetramine (112-24-3)	
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.885 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)
生態系 - 土壌	Highly mobile in soil。

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない。

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
残余廃棄物 : 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。
廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。
地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報 : 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)
国連番号
非該当
国連正式品名
非該当
輸送危険物分類
非該当
容器等級
非該当
環境有害性
非該当

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

毒物及び劇物取締法	：劇物（指定令第２条） Ｎ，Ｎ’－ビス（２－アミノエチル）エタン－１，２－ジアミン及びこれを含有する製剤
大気汚染防止法	：有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第９次答申）
海洋汚染防止法	：有害でない物質（施行令別表第１の２） 有害液体物質（Ｙ類物質）（施行令別表第１）

16. その他の情報

免責条項　当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	Histamine Multi-Level Controls
製品タイプ	:	Food Safety -- [Food Safety]
製品コード	:	No ID#

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	:	化学研究及び開発、分析用薬剤
使用上の制限	:	あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。

会社情報

製造業者

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - https://www.neogen.com/

輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア12階
T 045-211-4615

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号	:	24 hours: Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international) Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	分類できない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入：気体)	区分に該当しない

	急性毒性 (吸入：蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性　短期（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性　長期（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Thimerosal	< 0.1	-	-	54-64-8

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般　：気分が悪い場合は医師の診察を受ける。

吸入した場合　：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合　：皮膚は多量の水で洗浄する。

眼に入った場合　：予防措置として眼を水ですすぐ。

飲み込んだ場合　：気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護　：応急措置を行う者は、自身の保護に注意を払い、推奨される個人用保護具を使用すること（第8項を参照）。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合　：通常の条件下では特に無し。

症状/損傷 皮膚に付着した場合　：通常の条件下では特に無し。

症状/損傷 眼に入った場合　：通常の条件下では特に無し。

症状/損傷 飲み込んだ場合　：通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療　：対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	: 強い水流は使用しない。
火災危険性	: 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	: 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。

非緊急対応者

保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	: 漏出エリアを換気する。

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。 流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。 可能であればリスクなく漏出をせき止める。
浄化方法	: 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
その他の情報	: 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: データなし
安全取扱注意事項	: 作業所の十分な換気を確保する。 個人用保護具を着用する。
接触回避	: データなし
衛生対策	: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件	： 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
安全な容器包装材料	： データなし
技術的対策	： 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
容器包装材料	： 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。
保管温度	： 2 – 8 °C

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	： 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具	： 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具	： 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
手の保護具	： 保護用手袋
眼の保護具	： 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	： 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視	： 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 液体
外観	： 水溶液
色	： 透明色、黄色
臭い	： 無臭、微臭
pH	： データなし
融点	： データなし
凝固点	： データなし
沸点	： データなし
引火点	： データなし
自然発火点	： データなし
分解温度	： データなし
可燃性	： データなし
蒸気圧	： データなし
相対密度	： データなし
密度	： データなし
相対ガス密度	： データなし
溶解度	： 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	： データなし
爆発限界 (Vol-%)	： データなし
動粘性率	： データなし
粒子特性	： データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	： 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	： 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	： 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	： 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。

混触危険物質 : データなし

危険有害な分解生成物 : 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口) : 分類できない。

急性毒性 (経皮) : 分類できない。

急性毒性 (吸入) : 区分に該当しない(分類対象外) (気体)。
区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)。
分類できない (粉じん、ミスト)。

Histamine Multi-Level Controls	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の98.85%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の98.85%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている

Thimerosal (54-64-8)	
急性毒性 (経口)	【分類根拠】(1)、(2) より、区分3とした。【根拠データ】(1) ラットのLD50: 75 mg/kg (AICIS (旧NICNAS) IMAP (2017)、GESTIS (Access on May 2020)、HSDB (Access on May 2020))(2) ラットのLD50: 98 mg/kg (NTP (2001))
急性毒性 (経皮)	【分類根拠】データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:気体)	【分類根拠】GHSの定義における固体であり、区分に該当しない。
急性毒性 (吸入:蒸気)	【分類根拠】データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	【分類根拠】データ不足のため分類できない。
LD50 経口	75 mg/kg
LC50 吸入 - ラット	0.201 mg/l Source: GESTIS

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
皮膚腐食性／刺激性	【分類根拠】データ不足のため分類できないとした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない

Thimerosal (54-64-8)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	【分類根拠】旧分類の根拠となったデータが確認できず、データ不足のため分類できないとした。

呼吸器感作性 : 分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
呼吸器感作性	【分類根拠】データ不足のため分類できない。

皮膚感作性 : 分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
皮膚感作性	【分類根拠】(1)～(3) より、区分1Aとした。【根拠データ】(1) モルモットを用いた複数の皮膚感作性試験が実施されており、Optimization法で陽性 (陽性率 70%)、改変マキシマイゼーション法 (皮内投与 0.1%) で陽性 (陽性率 70%)、その他、皮下投与及び閉塞適用による感作性試験でも陽性と報告されている (MAK (DFG) vol.15 (2001))。 (2) 本物質は産衛学会　感作性分類　皮膚第1群に分類されている (産衛誌55巻 (2013))。(3) 本物質が職業性接触皮膚炎の原因である症例報告があり、手袋せずにワクチン接種業務に従事し手に湿疹が生じ、パッチテストで陽性であり、ビニール手袋を着用したら症状が消失した。また、別の報告では、8年前に肝炎ワクチン接種で感作されたことが疑われ、その後ワクチン接種業務で手の湿疹を生じパッチテストで陽性であった (産衛学会感作性物質提案理由書 (2013))。

生殖細胞変異原性　：分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
生殖細胞変異原性	【分類根拠】(1)、(2) より、区分に該当しないとした。【根拠データ】(1) in vivoでは、欧州共同体のバリデーション試験で、マウス腹腔内投与による骨髄細胞の小核試験及び染色体異常試験で陰性、精母細胞の染色体異常試験で陰性として分類された (AICIS (旧NICNAS) IMAP (2017)、NTP (2001)、HSDB (Access on May 2020))。(2) in vitroでは、細菌の復帰突然変異試験で陰性の報告 (AICIS (旧NICNAS) IMAP (2017)、NTP (2001)、CEBS (Access on May 2020))。ヒトリンパ球培養細胞の染色体異常試験、遺伝子突然変異試験であいまいな結果の報告がある (HSDB (Access on May 2020))。

発がん性　：分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
発がん性	【分類根拠】データ不足のため分類できない。新たな情報源を用いて検討し、分類結果を変更した。【参考データ等】(1) ラットに本物質を1年間皮下投与した発がん性試験では、腫瘍発生率の増加は認められなかった (AICIS (旧NICNAS) IMAP (2017))。

生殖毒性　：分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
生殖毒性	【分類根拠】(1) より、腹腔内投与、点眼適用により、母動物毒性がみられない用量で胚及び胎児の致死性がみられていることから区分1Bとした。【根拠データ】(1) 雌ラットの妊娠6～18日に腹腔内投与した発生毒性試験、雌ウサギの妊娠6～18日に点眼適用した発生毒性試験において、母動物毒性がみられない用量で、胚及び胎児の致死性 (死亡、流産または再吸収) がみられているが催奇形性はみられていない (AICIS (旧NICNAS) IMAP (2017))。【参考データ等】(2) ヒトで利用可能なデータに基づくと、本物質を含むワクチンで使用されている濃度では、ヒトに発生毒性を引き起こさない (AICIS (旧NICNAS) IMAP (2017))。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)　：分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	【分類根拠】(1)～(3) より、区分1 (神経系、血液系、腎臓) とした。なお、(1) の皮膚炎は1例のみの症例であったため、ガイダンスに従って採用しなかった。新たな情報源の使用により、旧分類から分類結果を変更した。【根拠データ】(1) 本物質83 mg/kgを摂取した44歳の男性で、胃炎、腎尿細管障害、皮膚炎、歯肉炎、せん妄、昏睡、多発性神経障害 (全身性末梢神経変性) 及び呼吸不全がみられた (AICIS (旧NICNAS) IMAP (2017)、HSDB (Access on May 2020))。(2) 本物質を含む製品による急性水銀中毒の症例が報告されており、本物質の投与量として、約3 mg/kg～数100 mg/kgの範囲で、局所壊死、急性溶血、播種性血管内凝固、急性腎尿細管壊死、鈍麻、昏睡、中枢神経系損傷がみられた (HSDB (Access on May 2020))。(3) アルキル水銀化合物による四肢末端若しくは口囲の知覚障害、視覚障害、運動失調、平衡障害、構語障害又は聴力障害は、労働基準法施行規則別表第一の二に掲げる業務上の疾病として定められている (労働省告示第三十三号 (1996))。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) ： 分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	【分類根拠】(1)、(2) より、区分1 (神経系) とした。【根拠データ】(1) アルキル水銀化合物は無機水銀化合物とは対照的に血液-脳関門、血液-胎盤関門を速やかに通過する。主な標的臓器は中枢及び末梢神経系及び腎臓である (ACGIH (7th, 2001))。(2) 鼓膜切開術を受けた18歳女性が耳の感染症を処置するために、6週間にわたり本物質0.1%を含む耳洗浄液1.2 Lを投与された。この洗浄液の鼻咽頭へのドレナージにより二次的な経口摂取が生じ、総ばく露量は127 mg/kg に達した。運動失調、卒中及び昏睡が6週目に生じ、治療開始140日後に死亡した (AICIS (旧NICNAS) IMAP (2017))。(3) アルキル水銀化合物による四肢末端若しくは口囲の知覚障害、視覚障害、運動失調、平衡障害、構語障害又は聴力障害は、労働基準法施行規則別表第一の二に掲げる業務上の疾病として定められている (労働省告示第三十三号 (1996))。【参考データ等】(4) 本物質は、ワクチン、点眼薬、コンタクトレンズの洗浄及び保存液の保存剤として広く使用されている有機水銀化合物である (HSDB (Access on May 2020))。(5) 本物質を190日間鼻腔内投与した実験動物 (生物種不明) において、脳、腎臓の病理組織学的変化は観察されなかったとの報告がある (HSDB (Access on May 2020))。

誤えん有害性 ： 分類できない。

Thimerosal (54-64-8)	
誤えん有害性	【分類根拠】データ不足のため分類できない。
動粘性率	Not applicable (solid)

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 ： 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。

水生環境有害性　短期（急性） ： 区分に該当しない。

水生環境有害性　長期（慢性） ： 区分に該当しない。

Thimerosal (54-64-8)	
水生環境有害性　短期（急性）	データがなく分類できない
水生環境有害性　長期（慢性）	データがなく分類できない
LC50 - 魚 [1]	0.16 mg/l (96 h, Cyprinus carpio, Literature study, Mercury ion)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-1.88 (Estimated value, KOWWIN)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.235 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

残留性・分解性

Histamine Multi-Level Controls	
残留性・分解性	急速分解性でない

Thimerosal (54-64-8)	
残留性・分解性	Not readily biodegradable in water。

生体蓄積性

Histamine Multi-Level Controls	
生体蓄積性	データなし

Thimerosal (54-64-8)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-1.88 (Estimated value, KOWWIN)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.235 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

土壌中の移動性

Histamine Multi-Level Controls	
土壌中の移動性	データなし

Thimerosal (54-64-8)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-1.88 (Estimated value, KOWWIN)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.235 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)
生態系 - 土壌	Low potential for adsorption in soil。

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性　：分類できない。

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分　：管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法　：許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
残余廃棄物　：本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。
廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。
地域の廃棄規則　：管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理　：管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

追加情報 ： 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)
国連番号
輸送規則の定義上危険物に該当しない。
国連正式品名
規制されていない
輸送危険物分類
規制されていない
容器等級
規制されていない
環境有害性
規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 ： 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

毒物及び劇物取締法 ： 劇物（指定令第２条）
［（２－カルボキシラトフエニル）チオ］（エチル）水銀ナトリウム０．１％以下を含有する製剤
毒物・除外品目（指定令第１条）
水銀化合物／［（２－カルボキシラトフエニル）チオ］（エチル）水銀ナトリウムを含有する製剤

水質汚濁防止法 ： 有害物質（法第２条、施行令第２条、排水基準を定める省令第１条）

大気汚染防止法 ： 有害大気汚染物質、優先取組物質（中央環境審議会第９次答申）

海洋汚染防止法 ： 個品運送Ｐ（施行規則第３０条の２の３、国土交通省告示）
有害でない物質（施行令別表第１の２）
有害液体物質（Ｚ類同等の物質）（環境省告示第１４８号第３号）

道路法 ： 車両の通行の制限（施行令第１９条の１３、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第１２号・別表第２）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ： 特別管理産業廃棄物（法第２条第５項、施行令第２条の４）

水道法 ： 有害物質（法第４条第２項）、水質基準（平１５省令１０１号）

下水道法 ： 水質基準物質（法第１２条の２第２項、施行令第９条の４）

労働基準法	： 疾病化学物質（法第７５条第２項、施行規則第３５条別表第１の２第４号１）
農薬取締法	： 販売禁止農薬（法第１８条第２項、平成１５年３月５日省令第１１号、令和５年４月４日省令第２号・別表第２）
土壌汚染対策法	： 特定有害物質（法第２条第１項、施行令第１条）

16. その他の情報

免責条項　当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	Histamine-HRP Conjugate Solution
製品タイプ	:	Food Safety -- [Food Safety]
製品コード	:	No ID#

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	:	分析用薬剤、化学研究及び開発
使用上の制限	:	あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。

会社情報

製造業者

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - https://www.neogen.com/

輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア12階
T 045-211-4615

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号	:	24 hours: Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international) Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入：気体)	区分に該当しない

	急性毒性 (吸入：蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分に該当しない
	呼吸器感作性	区分に該当しない
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分に該当しない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性　短期（急性）	分類できない
	水生環境有害性　長期（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP) ： 警告

危険有害性 (GHS JP) ： アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)

注意書き (GHS JP)

安全対策 ： 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。(P261)
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 (P280)

応急措置 ： 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。(P302+P352)
特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。(P321)
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P333+P313)
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 (P362+P364)

廃棄 ： 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 ： 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Proprietary Enzyme	≥ 75	-	-	-

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般	： 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合	： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	： 皮膚は多量の水で洗浄する。 汚染された衣類を脱ぐこと。 皮膚刺激または発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合	： 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	： 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	： 救急隊員は、適切な個人用保護具を装備する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	： 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	： アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
症状/損傷 眼に入った場合	： 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 飲み込んだ場合	： 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	： 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	： 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	： 強い水流は使用しない。
火災危険性	： 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	： 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	： 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	： 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	： 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	： 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。

非緊急対応者

保護具	： 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	： 漏出エリアを換気する。 皮膚、眼との接触を避ける。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。

応急処置 : 不要な職員を退避させる。
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。
流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。
可能であればリスクなく漏出をせき止める。

浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし

安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
皮膚、眼との接触を避ける。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
個人用保護具を着用する。

接触回避 : データなし

衛生対策 : 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料 : データなし

技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

保管温度 : 2 – 8 °C

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具 : 保護用手袋

眼の保護具 : 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
外観	: 溶液
色	: 琥珀色
臭い	: 無臭、微臭
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (Vol-%)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない。
急性毒性 (経皮)	: 分類できない。
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体)。 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)。 分類できない (粉じん、ミスト)。

Histamine-HRP Conjugate Solution	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の100%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の100%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の100%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている

皮膚腐食性／刺激性	: 区分に該当しない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分に該当しない
呼吸器感作性	: 区分に該当しない。

皮膚感作性 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
生殖細胞変異原性 : 分類できない。
発がん性 : 分類できない。
生殖毒性 : 分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分に該当しない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない。
誤えん有害性 : 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性　短期（急性） : 分類できない。
水生環境有害性　長期（慢性） : 区分に該当しない。

残留性・分解性

Histamine-HRP Conjugate Solution	
残留性・分解性	急速分解性でない

Proprietary Enzyme	
残留性・分解性	急速分解性でない

生体蓄積性

Histamine-HRP Conjugate Solution	
生体蓄積性	データなし

土壌中の移動性

Histamine-HRP Conjugate Solution	
土壌中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない。

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
残余廃棄物 : 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。
廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。
地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報 : 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)
国連番号
輸送規則の定義上危険物に該当しない。
国連正式品名
規制されていない
輸送危険物分類
規制されていない
容器等級
規制されていない
環境有害性
規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報　　：　補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

データなし

16. その他の情報

免責条項　当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	Phosphate Buffered Saline, Foil Pouch
製品タイプ	:	Food Safety -- [Food Safety]
製品コード	:	0114
Part Number(s)	:	0114|100000012

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	:	分析用薬剤、化学研究及び開発

会社情報

製造業者

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - https://www.neogen.com/

輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア12階
T 045-211-4615

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号	:	24 hours: Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international) Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入：気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入：蒸気)	区分に該当しない

	急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	区分に該当しない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性　短期（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性　長期（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：混合物

本混合物には、適用可能な規制に従って言及される物質は含まれていない

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般　：気分が悪い場合は医師の診察を受ける。

吸入した場合　：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合　：皮膚は多量の水で洗浄する。

眼に入った場合　：予防措置として眼を水ですすぐ。

飲み込んだ場合　：気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護　：応急措置を行う者は、自身の保護に注意を払い、推奨される個人用保護具を使用すること（第8項を参照）。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合　：通常の条件下では特に無し。
本製品から発生しうる粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。

症状/損傷 皮膚に付着した場合　：通常の条件下では特に無し。
粉じんは皮膚のひだまたは密着した衣服に接触することで刺激を起こすことがある。

症状/損傷 眼に入った場合　：通常の条件下では特に無し。
本製品の粉じんは、目の炎症を引き起こす場合がある。

症状/損傷 飲み込んだ場合　：通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療　：対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	： 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤	： 強い水流は使用しない。
火災危険性	： 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	： 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	： 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	： 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	： 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	： 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。

非緊急対応者

保護具	： 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	： 漏出エリアを換気する。

緊急対応者

保護具	： 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	： 不要な職員を退避させる。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	： 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	： 清潔なショベルを使用して、ドライコンテナに物質を入れ、圧縮せずに覆います。
浄化方法	： 製品は機械的に回収する。
その他の情報	： 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	： データなし
安全取扱注意事項	： 作業所の十分な換気を確保する。 個人用保護具を着用する。
接触回避	： データなし
衛生対策	： この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件	： 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
安全な容器包装材料	： データなし

技術的対策	： 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
容器包装材料	： 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	： 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具	： 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具	： 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
手の保護具	： 保護用手袋
眼の保護具	： 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	： 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視	： 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 固体
外観	： 粉末
色	： オフホワイト
臭い	： 穏やかな臭い
pH	： データなし
融点	： データなし
凝固点	： データなし
沸点	： データなし
引火点	： データなし
自然発火点	： データなし
分解温度	： データなし
可燃性	： データなし
蒸気圧	： データなし
相対密度	： データなし
密度	： データなし
相対ガス密度	： データなし
溶解度	： 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	： データなし
爆発限界 (Vol-%)	： データなし
動粘性率	： データなし
粒子特性	： データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	： 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	： 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	： 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	： 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	： データなし
危険有害な分解生成物	： 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口) : 区分に該当しない。
急性毒性 (経皮) : 分類できない。
急性毒性 (吸入) : 区分に該当しない(分類対象外) (気体)。
区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)。
区分に該当しない (粉じん、ミスト)。

Phosphate Buffered Saline, Foil Pouch	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の97.93%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の100%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の100%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない
呼吸器感作性 : 分類できない。
皮膚感作性 : 分類できない。
生殖細胞変異原性 : 分類できない。
発がん性 : 分類できない。
生殖毒性 : 分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない。
誤えん有害性 : 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性　短期（急性） : 区分に該当しない。
水生環境有害性　長期（慢性） : 区分に該当しない。

残留性・分解性

Phosphate Buffered Saline, Foil Pouch	
残留性・分解性	急速分解性でない

生体蓄積性

Phosphate Buffered Saline, Foil Pouch	
生体蓄積性	データなし

土壌中の移動性

Phosphate Buffered Saline, Foil Pouch	
土壌中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない。

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	： 固体廃棄物については適用法令を遵守する。 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	： 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
残余廃棄物	： 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。 廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。
地域の廃棄規則	： 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	： 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	： 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)
国連番号
輸送規則の定義上危険物に該当しない。
国連正式品名
規制されていない
輸送危険物分類
規制されていない
容器等級
規制されていない
環境有害性
規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報	： 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

海洋汚染防止法	： 有害でない物質（施行令別表第１の２）

16. その他の情報

免責条項　当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。